



## 連合奈良の日(6月度)

### 女性のための全国一斉集中労働相談ホットライン

6月7日実施予定だった連合奈良の日は、引き続きコロナ感染症の拡大予防のため街宣行動は中止としました。チラシ4,000枚を近鉄大和高田駅周辺に新聞折込みして街宣行動の代替としました。

今月は、女性のための「連合全国一斉集中労働相談ホットライン」開設の周知を行いました。コロナ禍で女性への影響が大きいと言われる解雇・雇止め、年次有給休暇、ハラスメント、勤務時間の削減等々の悩

みを抱えている方からの相談に応じてサポートを行いました。



## エッ、？

- × 正社員じゃないから有給はないよ。
- × いきなり契約終了？
- × 彼氏いるの？まだ独身？
- × 女性がいると会議長くなるよね
- × コロナ禍を利用した不利益変更  
**どれもダメですから！**

## なぜ副操縦士と機長では、機長の方が事故が多いのか？ 労働トップフォーラムを受講して

通常、旅客機では機長と副操縦士が職務を分担してフライトしています。一般的に操縦技術や状況判断能力の面で機長の方が格段に優れています。しかし、過去の航空機事故の例を見ると機長が操縦桿を握っている時の方が、はるかに墜落事故が起こりやすいことが分かっているんだそうです。

航空機は二人の操縦士によって操縦される様に設計されていて、クオリティの高い意思決定が必要な場面でお互いの判断に対してお互いがチェックし問題があれば異議を唱え、より安全な判断が出来るような仕組みになっているようです。

さて、副操縦士が操縦桿を握っている場合は、上役である機長が副操縦士の行動や判断に対してこのチェックは自然にできるし異議(指導)できます。この場合、動く腕は一人分だが、働いている脳は二人分になるという事。逆の場合？機長の行動や判断に異議を唱えにくい...言えなければ動いている腕、脳は一人分。つまり機長の判断ミスは修正されにくいということになります。そして、機長に対して異議を唱えられ

るかどうかは、その人の文化圏＝国によって決まるんだそうです。

よく風通しの良い組織を作ると言われますが、この風通しの悪さを凶る指標(権力較差指標)があるようで、日本・韓国・台湾など「儒教」の国や強固な王政が敷かれていた国が北欧や欧米より高い数値になっているそうです。

なるほど、目上の人(この表現がそもそも較差かも)には異議を唱えにくい、或いは「忖度」するのも精神文化が起因しているのかもしれませんが。職場で起こる問題や「成果主義」評価制度が上手くいかない一因がここに有りそうな気がしてきます。

### 権力較差が高い

- ・格差は当たり前
- ・上司は部下より権力がある
- ・権力のある者に依存する
- ・仕事上では上司の指示に従う

### 権力較差が低い

- ・実力主義
- ・上司と部下は対等
- ・上司と部下は相互依存
- ・仕事では自発力が求められる

## コロナ報道過敏症候群？

相変わらず毎日毎日決まり事のように感染者数やワクチンの接種率が報道され一喜一憂している。勿論、感染者はどんどん減少して欲しいし、ワクチンもより早くより多くの人が接種を終えてほしいと思う。毎日同じ話を聞いているとインパクトのある数字が出たり状況の急激な変化など、新しい情報にしか反応しなくなる...ような気がするが、どうなんだろう。

方や休業要請による補助金の支給が遅れて、止む無く休業・廃業という話がある。こちらは報道の回数も少なく、時間も短いように思う。1月に申請した書類の審査が未だに審査中(6月初旬)なんて話も聞いた。残念ながら機に乗じて不正受給を目論む輩がいるので審査に慎重になるのは分かるが、「あんまり」じゃないか？

ウイルス1個で感染が成立することは考え難いそうで、最小発症数は種類によって異なり、最強ともいわれるノロウイルスで「10<sup>2</sup>」(100)個ですが、それ以外では「10<sup>4</sup>」(10000)個が1つの目安になるそうです。一般的に通常の会話を5分すると3000個のウイルスを浴びるそうです。浴びたウイルスも粘膜に到達しなければ感

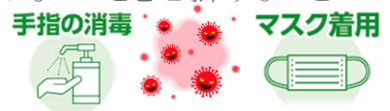
染しないという事だし、ウイルスは自分だけでは増殖できず、増えるには細胞の中に入り込む必要があるので少なくとも自分でウイルスを目鼻口に運ばないことを心掛けないと！

1時間に平均23回！

人は「無意識に」顔を触っています



約44%が目・鼻・口などの粘膜！



やっぱり、マスクと手指の消毒！